



福岡医発第 1611 号 (総)

平成 24 年 9 月 21 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

日本医師会「赤ひげ大賞」候補者推薦について

標記につきまして、日本医師会より推薦方依頼が参りました。

さて、現在の日本では少子高齢化の波が急激に押し寄せてきており、従来の医療は疾病を中心とした医学・医療の進歩が求められて参りましたが、今後は、疾病も含みながら、患者の生活を中心におく医学・医療へと変わっていくものと考えられております。

そこで、本賞は「現役の赤ひげ」と言うべき、地域に根差した、地域住民の日々の健康管理と診療を親身になって行っている医師を顕彰すべく、今年度より新しく創設されたもので、「医師魂」をもって地域医療に貢献されている、原則 70 歳未満の現役医師を対象としております。

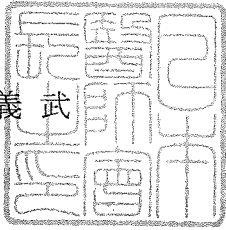
つきましては、別添要項に該当される方がおられましたら、候補者推薦書により来る 10 月 15 日 (月) までにご推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお、本会から 1 名のみの推薦となっておりますので、該当者が複数いる場合には本会にて選出を行いますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。また、該当者がいない場合もその旨ご連絡下さい。

平成 24 年 9 月 11 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会
会長 横倉 義武



日本医師会「赤ひげ大賞」候補者推薦について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より会務運営に際し一方ならぬご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、現在の日本では少子高齢化の波が急激に押し寄せてきており、従来の医療の構造そのものに対しても大きな変化が求められております。これまでは疾病を中心とした医学・医療の進歩でありましたが、今後求められるのは、疾病も含みながら、患者の生活を中心に置く医学・医療へと変わっていくものと考えられます。その中で、地域医療は、生活の場から医療に対応するかかりつけ医に注目が当たるようになるのではないかと考えます。

そこで、日本医師会では今般、「現代の赤ひげ」と言うべき、地域に根差した「かかりつけ医」として、地域住民の日々の健康管理と診療を親身になって行っている医師を顕彰すべく、「日本医師会 赤ひげ大賞」を創設することといたしました。

本賞は、原則 70 歳未満の現役の医師で、「医師魂」をもって地域活動の中で貢献されている日本医師会全会員に光を当て、顕彰することを目的としております。「大賞」受賞者は各都道府県医師会長よりご推薦を頂いた候補者の中から、第三者も交えた選考委員会において選定させていただきます。

また、表彰式は、平成 25 年 3 月を予定しております。

つきましては、貴医師会より別紙要領に従い、候補者 1 名をご推薦賜りますようお願い申し上げます。

敬具

推薦要領

- 目的：地域の医療現場で長年にわたり、健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当てて顕彰する。
- 主催：日本医師会 産経新聞社
- 後援：フジサンケイグループ各社
- 特別協賛：ジャパンワクチン株式会社
- 表彰：都道府県医師会長から推薦された候補者の中から日医役員を含む第三者を交えた選考委員会において受賞者を選考し、年1回表彰を行う。
受賞者には、賞状と記念品および副賞100万円を贈呈する。
- 対象者：地域医療の現場で住民が安心して生活を送れるようなまちづくりに寄り添った活動を長年にわたり行っている医師。
- 推薦基準：各都道府県医師会長より推薦（1推薦者より1名）。
◇地域の住民が安心して生活を送れるようなまちづくりに寄り添った活動を長年にわたり行っている医師
- ・過疎の医療現場、特に僻地や辺地、離島などで、住民を支えている医師
 - ・障害をもった方や高齢者が安心して暮らせるような活動を行っている医師
 - ・地域における学校保健活動、公衆衛生活動を通じ地域住民の健康管理を長年にわたり行っている医師
- ◇原則として70歳未満の現役の医師
- 提出期限：平成24年10月19日（金）
- 推薦書送付先：〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
社団法人 日本医師会 広報・情報課
担当：増田、菅生、森田
- ※推薦書記載の個人情報に関しましては、本賞の選考や受賞者の報道関係への発表に使用することとし、それ以外の目的には利用いたしません。

なお、受賞決定者におかれては、産経新聞紙上並びにBSフジテレビにおいて取材出演いただくことを申し添えます。

日本医師会「赤ひげ大賞」選考について

日本医師会「赤ひげ大賞」の選考基準に関しましては、既にお示したとおり、「かかりつけ医として、地域医療の現場で住民が安心して生活を送れるようなまちづくりに寄り添った活動を長年にわたり行っている現役医師」を選考対象とし、

1. 地域の住民が安心して生活を送れるようなまちづくりに寄り添った活動を長年にわたり行っている医師
 - ・過疎の医療現場、特に僻地や辺地、離島などで、住民を支えている医師
 - ・障害をもった方や高齢者が安心して暮らせるような活動を行っている医師
 - ・地域における学校保健活動、公衆衛生活動を通じ地域住民の健康管理を長年にわたり行っている医師
2. 原則として 70 歳未満の現役の医師

上記に該当される先生を 1 名選考いただくこととしております。各都道府県医師会におかれては、地区医師会ともご相談の上、選考されることと思いますが、選考に困難を要することがあるかと存じますので、以下に例示させていただきます。

なお、下記に関しましてはあくまでも「例」をお示しするものであり、これが全てでは無いことを申し添えます。

<例示>

- 過疎と高齢化が進む無医地区で、あらゆる分野の疾患に対応しつつ住民の生活に寄り添い長年診療を続けている。また、往診等積極的に行い、患者家族からも信頼を得ており、長いつきあいを通して、家族全体を把握した総合的なアドバイスをを行っている。
- 高齢の患者さんが最後まで自宅で過ごせるよう、在宅医療に家族参加も含めたチームで当たり、医学管理やリハビリ等行うと共に家族のケアの仕方も指導。ソーシャルワーカーや保健師とも連携し、独居の高齢者に対する見守りの体制を構築して、緊急対応にも応じている。
- 重症心身障害児施設や障害者施設、作業所などの入所者・利用者に対して長年医学管理を行い、療育を通して豊かな生活を送れるよう支援している。また、在宅の重症心身障害児、難病の患者などに療育訓練や短期入所を行い、家族からの相談に応じている。
- 文化的な趣味（絵画、写真等）の活動を通して、まちづくりに貢献している。

なお、原則として 70 歳未満の現役医師としていますが、あくまで原則であり、実際はこの限りではありません。

[illegible]

「日本医師会赤ひげ大賞」候補者推薦書

所属医師会名

医師会

主 な 功 績 内 容 (1,500 字以内)

(候補者のカラー写真を添付して下さい)

過去に受けたことのある賞

記入上の注意事項

1. 候補者は日本医師会会員であることが条件です。所属医師会名、会員区分欄を必ず記入下さい。
 2. 推薦者は都道府県医師会会長に限ります。表彰規定に照らし功績顕著と認められた個人の中から1名に限り推薦して下さい。
 3. 推薦都道府県医師会並びに会長名欄に記入して下さい。
 4. 主な功績内容は、具体的に（いつ、どこで、何を、どのくらい、どのように、どのような効果をあげたか）説明し顕著な活動をした状況が十分把握できるよう記入して下さい（1,500字以内に収めて下さい）。
 5. 過去に受賞経験がある方を推薦する場合は、賞の名前を記載欄に記入してください。
 6. 候補者の顔写真、推薦を受けられる個人の顔写真を提出して下さい。
- 注）ワープロ、黒インク、黒ボールペン等ではっきり記入し、オリジナルを提出して下さい。
- なお、ご応募いただいた書類は原則として返却致しませんのでご了承下さい。